

中央アジアと EU 欧州近隣諸国政策を超えて

蓮見 雄 (立正大学)

1. 「地政学的な権力の世界市場」と中央アジア

「今や地球上の至るところで、アメリカナイズ、ヨーロッパナイズ、中国ナイズが進むようになった。」「こうして世界の権力は、一国による独占から公開市場へと移った。」「地政学的な権力の世界市場では、ある超大国の政策が正しいかどうかは、その政策が実際に効果があるかどうかによって判断されねばならず、またその効果は他のほかの超大国の政策との比較によって証明されなければならない。」(パラグ・カンナ著『「三つの帝国」の時代』講談社、2009年、pp. 20-21)

2. 拡大する EU と欧州近隣諸国政策 (ENP)

1) 2004年の拡大は東と南の隣国への対応策、2007年の拡大は黒海地域への対応策を要請した。

ワイダー・ヨーロッパ構想

2) ワイダー・ヨーロッパから欧州近隣諸国政策 (ENP) へ

- ・ WNIS (ベラルーシ、ウクライナ、モルドヴァ)
- ・ バルセロナ・プロセス (アルジェリア、エジプト、イスラエル、ヨルダン、レバノン、リビア、モロッコ、シリア、チュニジア、パレスチナ)
- ・ 南コーカサス (アルメニア、アゼルバイジャン、グルジア) を包摂
- ・ ロシアを除外 (4つの共通空間)

3) ハードセキュリティによる補完を組み込んだソフトセキュリティ戦略: ENP+ESS

4) 多元的開放型リージョナル・ガバナンスの形成:

欧州近隣諸国 - 「プロセス」としての EU が「アクター」としての EU に出会う。

5) 欧州近隣諸国政策の進化: 「差異化」「共有」+ 「地域的プロセス」 - バルト海地域プログラム (2007-2013年)、黒海シナジー (2007年)、地中海連合 (2008年)

6) イースタン・パートナーシップ (2008年12月): ENP を超えて? EU 加盟を前提として? 「より野心的なパートナーシップ」(ウクライナ、モルドヴァ、アゼルバイジャン、グルジア、ベラルーシ)。連合協定、市場アクセス、エネルギー安全保障など。

3. EU と中央アジアの経済関係の非対称性:

- ・ EU は中央アジア諸国貿易の3分の1を占める中国、ロシアと並ぶパートナー。
- ・ 貿易構造は対照的。製品の品質、ビジネス慣習の EU 基準の促進。

4. EU の中央アジア戦略強化:

- ・ TACIS から「EU と中央アジア: 新しいパートナーシップのための戦略」(2007年)へ
- ・ ENP による東の隣国に対する EU の関与の積極化 ヨーロッパの中央アジアへの接近
中央アジアを「EU の信頼できるパートナー」にするという課題。
- ・ EU の長期的関与の姿勢をアピール: 支援の枠を超えて、中央アジアにおけるヨーロッパ

の利害を明示し、将来性ある協力分野を発見し、効率改善を目指す。

- ・ エネルギー資源開発・供給の多様化は、EU と中央アジアとの共通の課題である。
- ・ 各国の事情に対応するために、地域協力と二国間協力を併用（人権、法の支配、グッド・ガバナンス、民主化、教育、経済開発・貿易・投資の促進）
- ・ すべての道はEUに通じる：エネルギー・交通網の強化（INOGATE、TRACECA）
- ・ 持続可能な経済発展・水資源管理
- ・ 共通の脅威との闘い：組織犯罪、移民、汚職、麻薬、人身売買、密輸
- ・ 黒海シナジーを含むEUの他の地域政策との一貫性を維持する。
- ・ 若者・教育（ヨーロッパ的価値の移植）
- ・ 国連ミレニアム開発目標

5 . EU エネルギー安全保障政策と中央アジア

- ・ 中央アジアは、EU の多角化戦略の答えではない。LNG、ノルド、サウス、効率改善、備蓄、ガス市場形成による効率改善などの諸方策の一つ。
- ・ 開発・輸送、先進国市場へのアクセス、投資誘致を支援
- ・ EU 域内エネルギー市場の原則を基礎とする中央アジア・エネルギー市場の形成
- ・ 新しいカスピ海・黒海・EU エネルギー回廊（INOGATE）
- ・ トルコ、アゼルバイジャンの下流問題を解決し、西へのPLへの中央アジアの信頼確保。
- ・ カスピ海沖の資源開発を進めるために、トルクメニスタンとアゼルバイジャンの領土紛争解決を支援する。
- ・ 潜在的ガス埋蔵量が大きく、輸出余力の大きいトルクメニスタンをビジネス・パートナーとして重視し、上流・中流開発に対する技術的支援を行う（カザフスタンは、EU への輸出余地が小さい）。
- ・ EU は、ビジネスを支援できるか？ EU、加盟国、エネルギー企業の連携。

6 . ビジネス vs. 規範のパワーnormative power？：

- ・ 人権問題を抱える国と商業ベースで取引をしつつ、規範の外交 normative foreign policy を保持しうるか。（例：児童労働を利用したウズベキスタンの綿の排除）
- ・ ロシア、中国、アメリカ、EU の競合：
 - ロシア：安全保障、安価な武器、投資。しかし、貧困、ガバナンスの低さ、潜在的不安定性という中央アジアの問題の解決策を示せない。
 - 中国：体制転換モデルを示せるか？ 中国人移民、民主化への無関心。
 - 米国の関与は、緊張を高めている。
 - EU：安定し良く統治された地域に変えるという長期の利害関心。規範のパワーの実証？
- ・ 中央アジアのオーナーシップは？
- ・ EU は、一種のコンディショナリティを課しているが、「鞭」も「にんじん」もそれほど大きくない。EU は、グローバル・アクターとしての政策の「正しさ」を証明できるか？